



緑のカーテンプロジェクト ～緑の力で地球を冷やそう～



身近にできる緑化であり、楽しく気軽に育てるだけでヒートアイランド対策や地球温暖化防止に役立つ「緑のカーテン」のPRを行いました。

緑のカーテン栽培推進

- ・ 地区センター等で栽培講座を8回実施し、650名以上の方々が参加しました。また、緑のカーテン会員(488家族が登録)には、登録時に種と栽培テキストを送付し、年間を通して栽培情報紙(全7号)を送付しました。
- ・ 学校・保育園・公共施設(30か所)でも緑のカーテンを実施し、参加した施設より頂いた栽培報告等を展示したパネル展(2か所)を実施しました。

区民と協働した活動「緑のカーテン探検隊」

- ・ 風力発電所ハマウイングとこども植物園バスツアーを開催しました。(7月)
- ・ 隊員が持ちよったレシピを元に、ゴーヤー料理試作会を開催しました。(7月、8月)また、試作会でつくった料理を掲載したレシピ集を作成・配布しました。
- ・ 隊員による執筆記事を掲載した栽培情報紙を作成・発行しました。
- ・ 隊員に測定機器を貸出し、測定された温度等を集計して、緑のカーテンの効果を検証・公表しました。

学校に対する環境学習支援

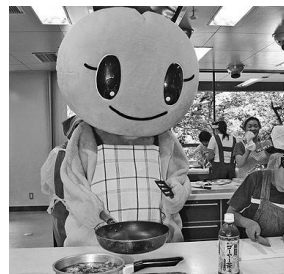
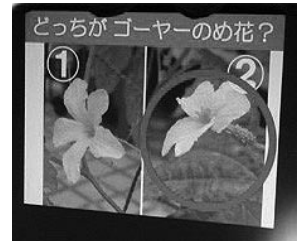
- ・ 区作成の環境学習チラシやミニマンガを提供しました。
- ・ 葉や壁などの表面温度が測れる、放射温度計を貸出しました。
- ・ 小学校で「横浜のヒートアイランドと緑のカーテンの効果について」を学ぶ環境授業を実施しました。(3授業)

雨水タンクの設置

雨水を貯めて、有効活用する雨水タンクを小学校に5基設置しました。(3校)



緑のカーテン栽培講座



ゴーヤー料理試作会の様子とレシピ集



放射温度計で表面温度を測る様子



栽培情報紙「緑のカーテン通信」



緑のカーテン(日枝小学校)



緑のカーテン出前授業の様子(石川小学校)



港南区

DATA (平成22年4月1日)

【設置年月日】昭和44年10月1日 【面積】19.86km² 【区の木】クロガネモチ
 【区の人口】221,349人 【区の花】ヒマワリ・アジサイ 【区の木】シジュウカラ
 【区の世帯数】89,739 【区の花】キキョウ



港南区

緑化の取組み

区内の緑化を推進するため、市立保育園(12園)や小学校(21校)・中学校(10校)の全てで、「区の木 クロガネモチ」の植樹や、つる性植物による「緑のカー

テン」の取組みを実施しました。また、港南区公園愛護会連絡協議会と市立保育園による、公園での植樹活動を実施しました。(12か所)



「クロガネモチ」の植樹
(10月30日/上大岡小学校)



「緑のカーテン」の様子
(大久保保育園)



公園での植樹(河津桜)
(11月5日/笹下中央公園)

脱温暖化の取組み

区民(1,403人)による環境家計簿など省エネ・脱温暖化型のライフスタイルの実践と、普及啓発を実施しました。また、区内の商店街に「エコ商店街」とし

て、脱温暖化の取組みに参加していただきました。

区内の市立保育園(12園)で、紙芝居による脱温暖化の啓発を実施しました。



商店街でエコ啓発(3月14日/上大岡東新専門店会)



紙芝居による脱温暖化啓発(11月5日/笹下保育園)

うるおいのある美しい街づくり

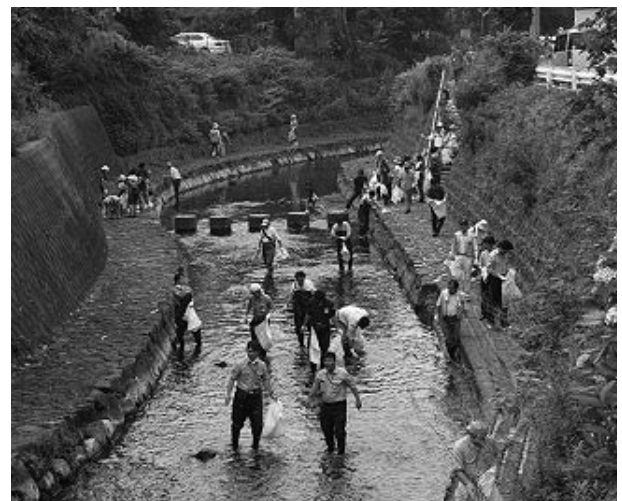
区内を流れる大岡川と平戸永谷川で、地域住民との協働によるクリーンアップ活動を実施しました。また、区民からなる「フラワーサポーター」(11団体)による、公共施設等への花植え活動を実施しました。

大岡川クリーンアップ

【実施日】平成21年5月31日(日)・6月13日(土)
 【参加者数】延べ1,160人 【回収ごみ量】3トン

平戸永谷川クリーンアップ

【実施日】平成21年5月24日(日)・10月18日(日)
 【参加者数】延べ1,100人 【回収ごみ量】1.38トン



大岡川クリーンアップ(6月13日/大岡川)

特集

横浜の生物多様性

第1章

地球温暖化対策の推進

第2章

自然環境の保全

第3章

少負荷型都市づくりの推進

第4章

良好な都市景観の保全

第5章

公害(生活環境)対策の推進

第6章

資源循環型まちづくりの推進

第7章

環境教育及び市民の環境活動促進

第8章

市役所の環境保全に向けた自主的な取組の推進

第9章

環境分野における国際的連携の推進

各区役所の環境施策

付属資料



保土ヶ谷区

DATA (平成22年4月1日)

【設置年月日】 昭和2年10月1日	【面積】 21.81km ²	【区の木】 シノキ・ハナモモ
【区の人口】 205,732人	【区の花】 スミレ	【区の鳥】 カルガモ
【区の世帯数】 90,174		



保土ヶ谷区

特集

横浜の生物多様性

第1章

地球温暖化対策の推進

第2章

自然環境の保全

第3章

少負荷型都市づくりの推進

第4章

良好な都市景観の保全

第5章

公害(生活環境)対策の推進

第6章

資源循環型まちづくりの推進

第7章

環境教育及び市民の環境活動促進

第8章

市役所の環境保全に向けた自主的な取組の推進

第9章

環境分野における国際的連携の推進

各区役所の環境施策

付属資料

脱温暖化に向けた環境行動の実践

G30のステップアップと身近なエコ活動の実践

- ・資源循環局や地域との協働により、ごみの減量化、資源化を推進し、区のごみ減量目標34,730tに対し、34,250tと、目標量を上回る成果を得られました。
- ・環境エコを「見る!」「知る!」「やってみる!」ために、環境教室(3回)やリサイクル教室(4回)、生ごみの堆肥化講習会(4回)を開催しました。

80千本植樹行動

- ・花フェスタ・区民まつりなどで苗木を配布し、今井川松並木プロムナードやバイオガーデンなどで植樹を行いました。

脱温暖化行動の推進

- ・保育園や学校などの公共施設をはじめ、一般家庭でも緑のカーテンづくりに取り組みました。区庁舎では、神戸保育園の園児が苗の植え付けを行いました。
- ・区民まつりなどで脱温暖化行動のPR活動を行うほか、エコドライブ教室や電動アシスト付自転車の試乗会を開催しました。

花と緑のあふれるまちづくりの推進

- ・「花の街ほどがや」のシンボルイベント「花フェスタ2009」を5月16日に開催しました。
- ・保土ヶ谷区内の小・中学生を対象に、「地域美化、花いっぱい、緑化、河川浄化等地域環境美化の推進」をテーマとするポスターを募集し、区民まつりで優秀作品を表彰しました。

開港150周年を契機とした、魅力と活気にあふれるまちづくり

ほどがや☆元気村

- ・保土ヶ谷区内唯一の水田という貴重な地域資源を利用した区民の交流の場「ほどがや☆元気村」において、区民の企画・運営による子どもたち向けの1年間の農体験講座を実施しました。(平成21年4月 開村)



リサイクル教室(エコキャンドルづくり)



バイオガーデン植樹



電動アシスト付自転車試乗会



ほどがや花フェスタ



稲刈り



区誕生40周年区民植樹

区内の緑を保全・創出し、緑に対する区民の関心を高めるため、区誕生40周年となる平成21年(2009年)に向けて、平成18年から区民との協働による植樹等を行ってきました。

(H18年度 3,416本 H19年度 3,960本 H20年度 3,951本)

最終年度となるH21年度は、連合自治会町内会全19地区の皆さんの手による植樹をリレー形式で進めていき、次世代に自然の恵みを引き継いでいく「リレー植樹」などを行いました。

【植樹本数等】H21年度4,144本 参加者1,120人



ホタルの舞う里づくり

旭区の昆虫であるホタルの舞う里づくりを目指して、小学校や地域でのホタルの飼育や放流を行うとともに、環境保全に取り組んでいます。



環境映画会・講演会の実施

環境をテーマにした映画「アース」の上映と、家庭でできる身近な省エネをテーマにした講演を実施しました。

また、当日ロビーでは、緑のカーテンや土壌混合

法など、区役所での脱温暖化の取り組み・横浜市地球温暖化対策推進協議会の活動をパネルで紹介しました。(2月24日実施、173人参加)

緑のカーテンづくり

ゴーヤなどつる性の植物を育てて、地球温暖化防止につながる緑のカーテンづくりに、公募による168世帯の区民の皆さま、幼稚園9園、保育園15園、小学校10校、中学校3校が取り組みました。

(写真は、緑のカーテンの食材を使った給食会)



土壌混合法(生ごみのリサイクル)

土壌混合法とは、生ごみと土を混ぜ合わせ、土の中の微生物の力を借りて生ごみを分解し、土を栄養豊富なものに変える方法です。毎月第2・4金曜日に区役所1階情報発信コーナーで実演を行っています。



特集
横浜の生物多様性
第1章
地球温暖化対策の推進
第2章
自然環境の保全
第3章
少負荷型都市づくりの推進
第4章
良好な都市景観の保全
第5章
公害(生活環境)対策の推進
第6章
資源循環型まちづくりの推進
第7章
環境教育及び市民の環境活動促進
第8章
市役所の環境保全に向けた自主的な取組の推進
第9章
環境分野における国際的連携の推進
各区役所の環境施策
付属資料